

ふれあひ

中学校福祉教育副読本



福祉教育副読本

ふれあい



金沢市民憲章

金沢を愛するわたしたちは、兼六園の四季のいろどり、犀川・浅野川の清い流れ、山や街の豊かな緑、かおり高い伝統文化を誇りとし、希望と活力にみちたはたらく基盤と、創造性あふれる教育・文化の華さくまちづくりにつとめます。

| ひらこう 世界と未来に心の窓を
| めぎそろう いきいきと明るいくらしの創造を
| まもろう 美しい心とふるさとの自然を
| つなごう みんなの力でまちづくりの手を
| きざごう 個性ゆたかなあすの金沢を

学習のはじめに

わたしたちは、だれも、ひとりだけでは生きていくことはできません。

家族や地域の人々など、社会のみんなが助け合い、支え合って初めて生きがいのある、幸せな暮らしをおくることができます。

また、わたしたちは、だれもが健やかで幸せに暮らせることを願っています。

この願いを実現していくためには、わたしたちがこれからどのようなことに心がけ、どのようなボランティア活動をしたら社会のだれもが幸せになることができるかいっしょに考えてみましょう。

平成9年3月

金沢市教育委員会

教育長 石原 多賀子

目次

学習のはじめに	5
第1章 ふれあいの心	
1 明るい家庭	8
2 家族の役割	10
3 学校でのふれあい	12
4 地域でのふれあい	16
第2章 とともに生きる心	
1 おとしよりとともに	20
2 障害のある人とともに	27
第3章 福祉のまちづくり	
1 バリアフリーのまちづくりをめざして	36
2 機能回復にがんばるひとたち	38
3 点字や手話を知っていますか	40
4 金沢福祉マップ	41
5 わたしたちにできるボランティア活動	42
6 ボランティア活動の手引	44
7 金沢市の社会福祉制度	46
あとがき	48

第1章 ふれあいの心

心のあたりに手をあてて

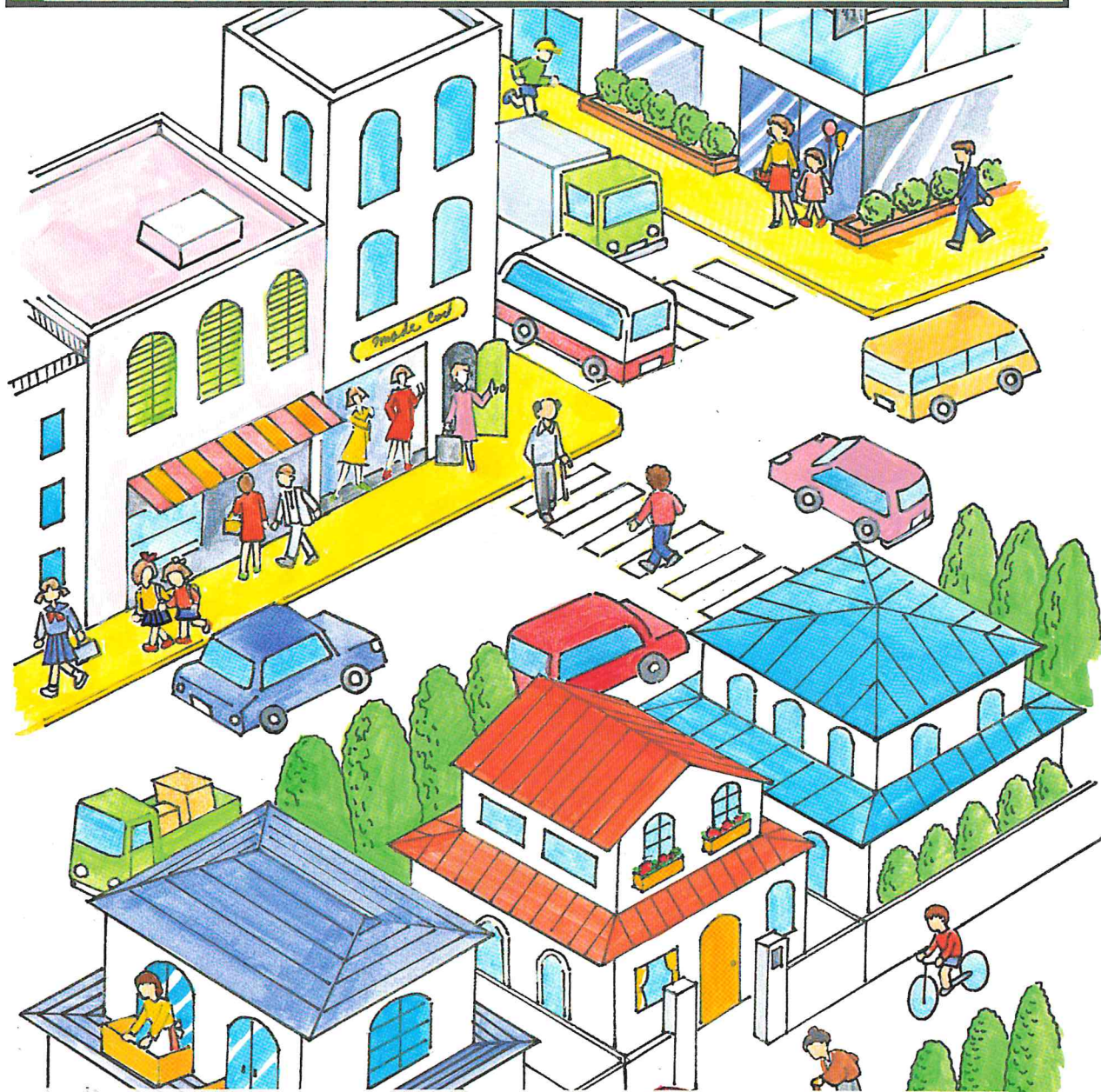
ほんとうの自分を探してください

だれもかみんなにやさしくされたい

だれでもみんなにやさしくしたい



1. 明るい家庭



わたしたちの周りには、いろいろな家庭があります。家族の人数や世代・生活のしかたはさまざまですが、家庭はわたしたちが人間として成長していくもっとも大切なところです。



わたしたちは、家族のひとりとして生まれ、家族とともに生活してきました。家族や身近な人たちとの暮らしの中で、人として生きていくために必要なことがらを身につけ、自分で考え、行動できるように成長していきます。
家族がともに生活する場、それが「家庭」です。

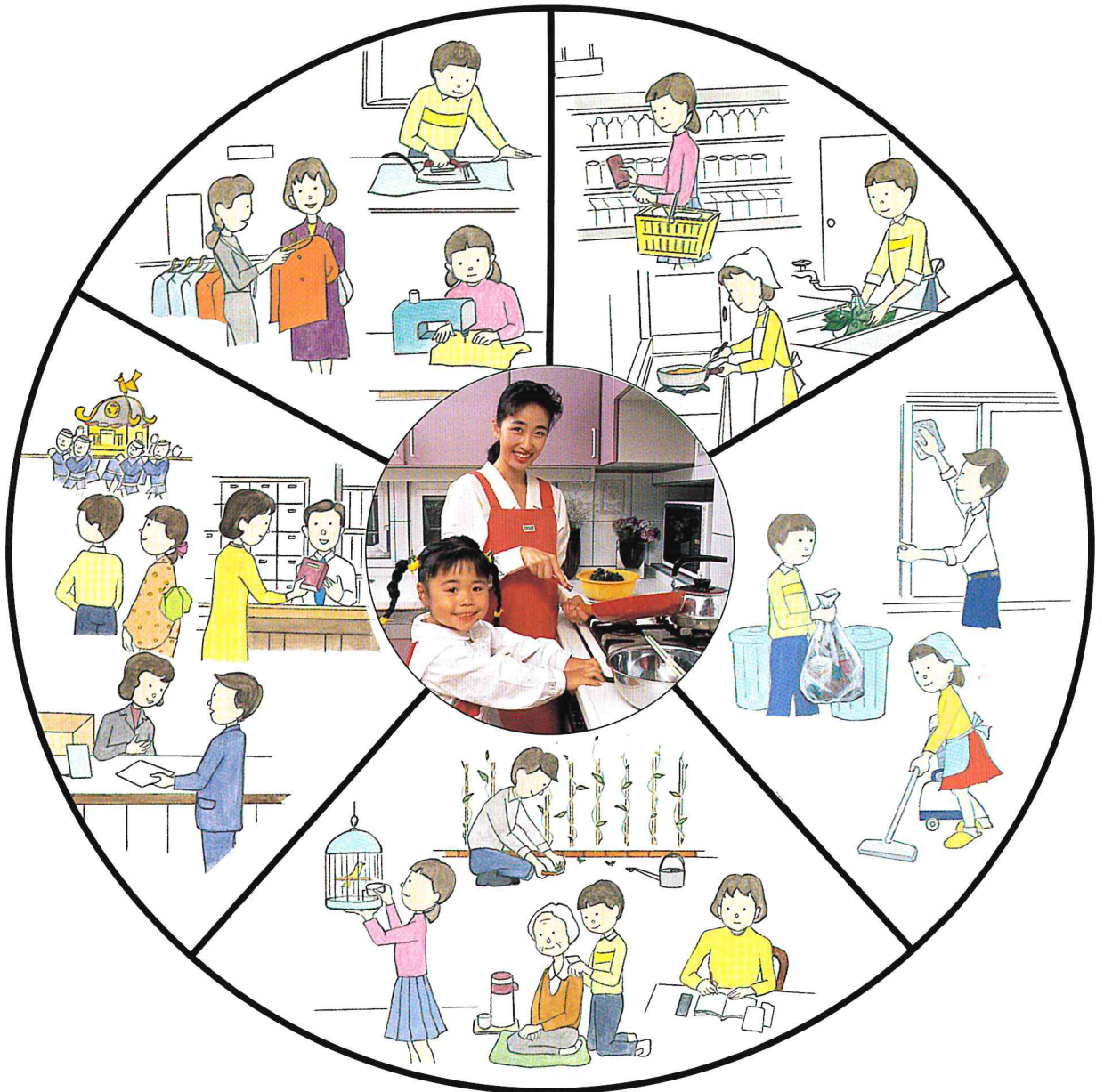


みんなが安心して生活し、みんなの活動のよりどころとなる場。
やりたいことや、やらなければならないことは、それぞれの立場で違いますが自分ひとりではつukれない、「家庭」は家族みんなのものです。
家族が協力し、助け合い、支え合う。そんな思いやりの心が、明るい家庭をつくれます。

2. 家族の役割

健康で快適な生活をおくりたい。これは、家族一人ひとりの願いです。

わたしたちの家庭では、充実した家庭生活をおくるために、いろいろな仕事がおこなわれています。



家庭の仕事は種類や内容が多く、ひとりですることはとてもたいへんです。

家族への愛情やいたわりがもとになって、お互いに協力しておこなえば、そのことが家族みんなに喜びや満足をもたらしてくれます。

昼食作りをして

生徒作文より

「家族のための昼食作り」という宿題が家庭科でだされました。私は『チャーハン・みそ汁・サラダ』という献立で昼食作りにチャレンジしました。私にとって家族のために料理を作ることは初めてです。料理はあまり得意ではないので自分にできそうな料理で、栄養のバランスも考えてメニューを決めました。

始める前にその献立を見た母は、「お母さんだったら15分でできるよ。」と言いました。私は30分あれば楽勝やと思いました。

いざ取り掛かると何からやればいいのか、初めからとまどってしまいました。頭の中ではわかっていたはずなのに……と困っていると母が来て、いろいろアドバイスをくれました。「なるほど。」と思うのですが、やってみるとうまくいきません。一番大変だったのは、玉ねぎを切ることでした。汁が目にしみてなかなかうまく切れませんでした。母が手本をみせてくれましたが、30秒もかからないで玉ねぎを切りました。何でそんなに早く、こんなにも難しいことができるのか不思議でたまりませんでした。それから、炒める時も油がとんできてこわくて逃げてしまったり、ご飯がフライパンにくっついて焦げてしまったり、と頭の中で考えているようにはできません。時間は1時間10分、予定の2倍かかってしまいました。こんな大変な事を短時間で、それも一人でできる母はすごい、とそのとき思いました。

母は、仕事も行って大変なのに、朝は一番に起きて朝食とみんなの弁当を作り、夜は疲れて帰って来てから夕食を作り、後片づけ、洗濯という生活を毎日しています。一日中、外の仕事と家の中の仕事を一生懸命がんばっている母を改めて偉いと思いました。自分の時間などほとんどないと思います。自分が初めて昼食作りをしてみて、家の中の仕事をほとんど母にしてもらっていることに気づきました。家族のみんなで分担して、少しでも母を助けることが大切だと思いました。

これから私は、自分にできることは進んでやって、家の仕事をもっとうまくできるようになって母を助けていきたいと思います。父や兄にも、自分でできることは自分でし、みんなで協力していこうと呼びかけるつもりです。

わたしたちは、家族やまわりの人たちに守られ、助けられて生活していた時期を経て、今、家族や社会のために何かをすることができるまでに成長してきました。家族の一員として自分ができることや、自分がやるべきことをみつけて、おいに実践していきましょう。

- ※ 家庭の中で家族の一員として自分がうけもっている仕事を考えてみましょう。
- ※ さらに家族のために自分ができることはないか話しあってみましょう。

3. 学校でのふれあい

支えあう仲間

友達の存在

生徒作文より

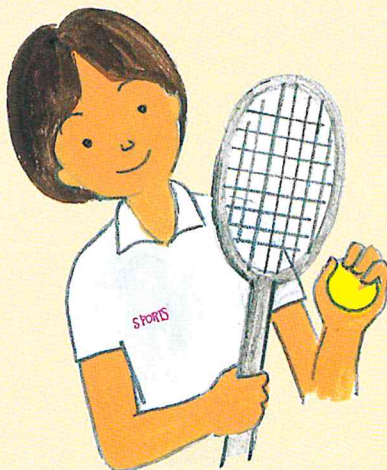
あの日のできごとがなかったら、わたしは、友達という存在は、ただいつでも楽しく話したり、遊んだりするための存在だとずっと思っていたかもしれない。

夏休みのある日、いつもと同じようにテニスの練習をしていたわたしは、不注意から、右目に大ケガを負った。硬式テニスを練習するためのテニサーという機械が故障していたのか、ボールが出て来ないので、近づいて機械をのぞき込んだとたんにテニスボールが飛び出して来た。まともに硬式テニスボールが右目に当たったのだ。眼鏡はとんでいき、レンズは粉々になった。その一部が目の中にも入ったようだった。右目からはひどく血が出た。言葉では言い表せないほどの痛みで、失明するのではという恐れでわたしは気持ちが動転し、どうしていいのかわからなかった。そのとき、一緒に練習していた友達のうちの一人は、すぐに先生を呼びに走り、他の友達は、わたしの手をずっと握って、「大丈夫、大丈夫だから。」

と声をかけてくれた。わたしは、失明するかもしれないという不安でいっぱい、大泣きしていたのに、友達は冷静に行動し、わたしを励まし続けて、落ち着かせてくれた。それで、信じられないくらいに自然に、不安が消えていった。それが友達の力というものなのだ。

それからわたしは、ケガが完治するまで部活動ができず、友達にも会えなかったのだが、たくさんの友達が、よく電話をかけてきてくれた。それが何よりもうれしく、早くみんなと一緒にテニスをしたいという気持ちが大きくなった。

このできごとから、わたしは今までどんなに友達の力で支えられていたのがよくわかった。それは、かけがえのないものである。お金で買えるものではない。友達というのは、心を支えてくれる存在なのだ。そして、支えられるだけではいけない。自分も、友達を支えられるような存在にならなければいけない。すくなくとも、このぬくもりへの恩返しを、これからわたしはしていきたい。



中学時代は、心も身体も大きく成長する時期です。同時に、友だちや勉強、身体のことなど、悩みも大きくなります。このような時期に、一番影響を与えるのは、友だちの存在です。共に勉強したり遊んだりする友だち、困っている時に真剣に相談相手になってくれる友だち。そんな友だちが身近にいてくれたら、新しい自分をつくることもできますね。友だちの支えによって、悩みがわたしたちの成長のステップになるのです。



友だちって、いいなー



部活動で支えあい、鍛えあう仲間がいる。

※ 友だちとのふれあいの中で、うれしかったこと、支えられたことなどを話し合ってみましょう。

広がる仲間の輪

交歓交流

身近な仲間だけではなく、スポーツの交流試合や、クラブ活動などを通して、他の学校にも友だちができ、仲間の輪が広がります。



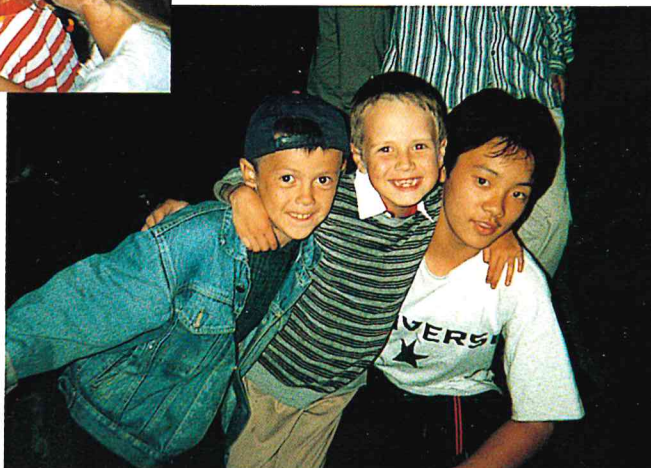
テニスでの交歓試合

国際交流

音楽やスポーツなどを通して、また国や県をはじめ、各種団体のお世話による交流会やホームステイを通して、友だちの輪は世界に広がります。



イルクーツクの子供達に折り紙を
教えているところ



一緒に遊んでいるところ

—— イルクーツク市への訪問 ——

生徒作文より

僕は、イルクーツクで、本当に幸せで贅沢な7泊8日を過ごして来たと思う。ホームステイ先もイルクーツクではお金持ちの家だった。いい思いばかりしていたので前もって聞かされていた“この国は貧富の差がはげしい、なんてことは嘘のように思え、それがイルクーツクのすべてだとその時は考えていた。



市長表敬でのひとこま

けれど、ホームステイ最後の

日、街のレストランで驚くべき出来事に合った。僕がテーブルに着き食事を待っていたら、出入り口の所であまりきれいとはいえない洋服を着ている少年3人が何かこそこそとしていた。そして数秒後、いきなり1人の少年が背中を押され走って入って来て、客が帰った後のテーブルの上に残っていたお菓子みたいなものを手につかみ、また走って行った。そして、仲間と一緒に去って行った。あっという間の出来事で、店員さんもその事に気づいてはいなかった。その時、僕は（これが現実であり、忘れてはいけないことだ）と思った。それ以外に、ホームステイが終わり、みんなで街で買い物をしているときにも、アコーディオンを奏でながらお金を集めている親子や小さなキーホルダーのようなものを見せ、買って/と言う男の子もいた。この国は、日本での僕たちの暮しに比べ（ものすごく大変な

んだな）と身をもって感じ（僕は本当に幸せな日々を送っていたんだな）と、嬉しくも申し訳なく思えました。

最後にイルクーツクで出会った人たちみんなに、一緒にイルクーツクでの日々を過ごした友だちや先生方に、そして僕をイルクーツクへ行かせてくれたお父さんとお母さんに、スパシーバ！



ロシアの子供達に折り紙を教えているところ

4. 地域でのふれあい

わたしたちのまちには、赤ちゃんからおとしよりまで、さまざまな人たちが、生活しています。誰もがこのまちに住んでいることを喜び合い、誇りに思えるようなまちにしたいと願っています。

明るく住みよいまちをつくるためには、一人ひとりの小さな心がけがとても大切なこととなります。わたしたちは、地域社会の中で、互いに助け合い、協力し合って、豊かな生活をおくることができます。人々とのふれあいをとおして、喜びが生まれ、生きがいが生まれてくるのです。

まわりの人たちと共に語り、困ったことを聴いてあげましょう。すばらしい地域の輪が広がっていきます。



夏、恒例のバーベキュー。まちの人たちは近くの公園に集まりました。楽しい語らいの場です。

※ あなたの町には、どのような行事がありますか。話し合ってみましょう。

わたしたちの住んでいるまちは、自分たちの手で、きれいにするよう心がけましょ
う。このまちでは、クリーン・キャンペーンの日には、小学生・中学生をはじめ近所
の人たちの協力で、きれいなまちづくりが進められています。



日曜日の朝、まちの人たちの協力で
すっかりきれいになりました。

M中学校では、生徒と地域の人々がいっしょになって、環境の美化に努めています。
今年では中庭を花で飾ることにしました。



中庭の様子

水やり 8月



9月

移植 7月



まちの人たちとのふれあいをおして、生き生きとした人間関係が生まれてきます。



町内対抗の社会体育大会には、近所の人たちが誘いあって参加します。応援にも力ははいりません。

廃品回収の日は、とても暑い日になりました。みんなが手伝ってくれたおかげで、早く終わることができました。



毎年、秋祭りには、獅子舞いや悪魔払いに、中学生も参加します。楽しい年中行事の1つです。

第2章 ともに生きる心

だれもが健康で

だれもが幸せにくらしていくために

手に手をとってあるいていきたい

いつだって大切にしていきたいのは

ひとの痛みや悲しみをうけとめる

ともに生きる心



1. おとしよりとともに

進む高齢化

わたしたちの国では、おとしよりの人口に占める割合が諸外国に例をみないほど増えています。

金沢市でも、おとしよりが増えています。これは、おとしよりが自分の身体を大切にしているのと、医学の進歩などによって長生きできるようになったためです。

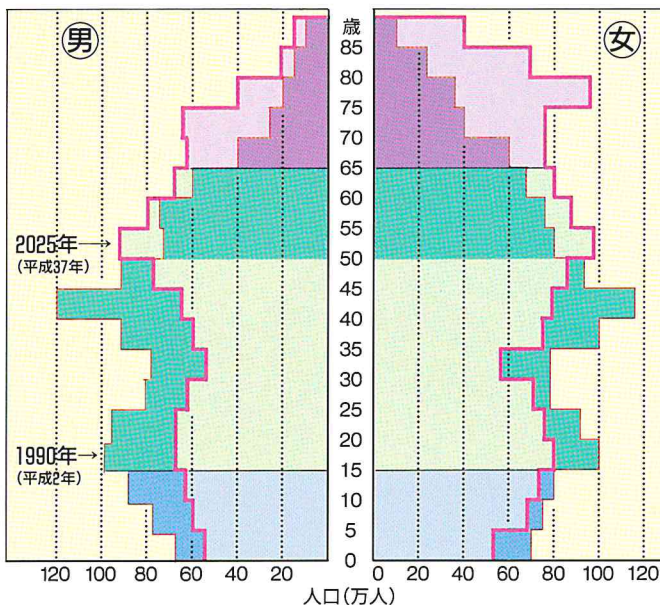
長生きできるようになりました。



人生80年

- ※ おとしよりが、どれくらい増えているか、みてみましょう。
- ※ 私たちは、世の中に長い間貢献してきたおとしよりに、どのようなことをしてあげられるか、又、高齢化社会にどのように対応していかなければいけないか、真剣に考えてみましょう。

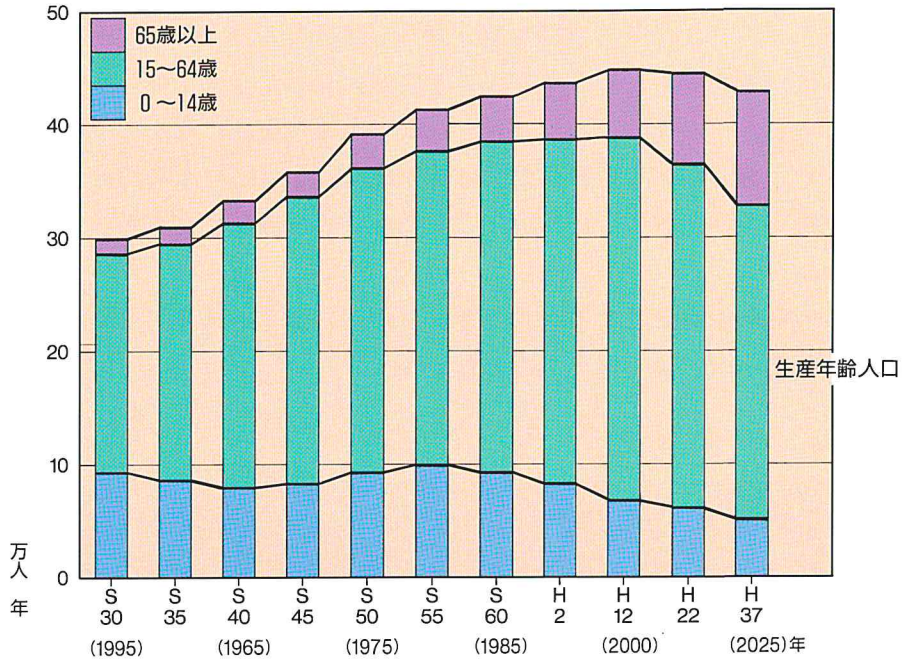
全国の人口構成の現状と将来の比較



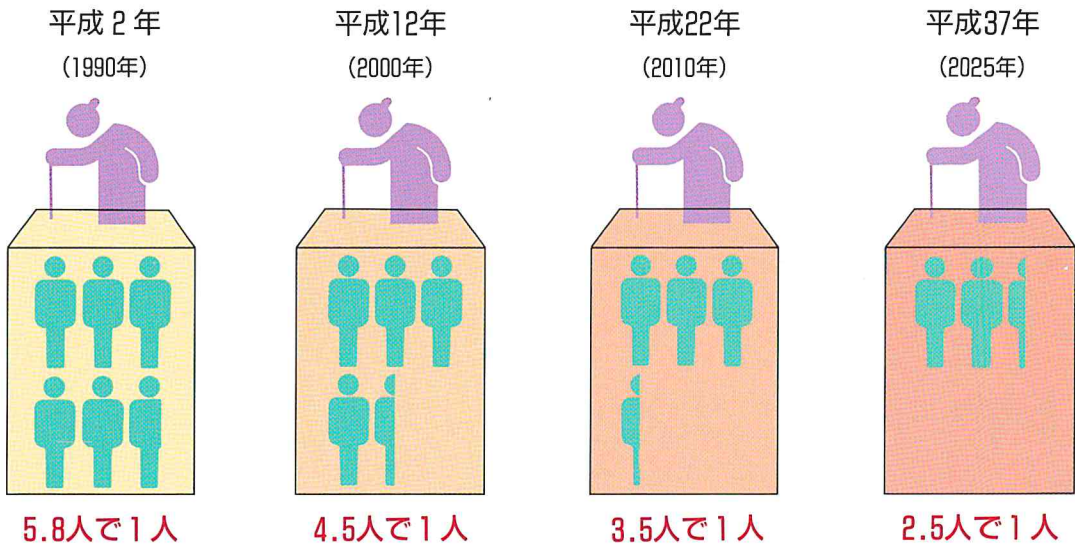
1990年 (平成2年)		2025年 (平成37年)
14,899千人 12.0%	65才以上	31,509千人 25.4%
86,228千人 69.8%	15~64才	74,563千人 60.1%
22,484千人 18.2%	0~15才	18,065千人 14.5%

- ※ おとしよりの人口の割合がもっとも高くなるのは、2025年（平成37年）です。今から何年後になるか、考えてみましょう。

金沢市の年齢別人口の移り変わり



金沢市のおとしより1人を支える生産年齢人口の移り変わり



※ おとしより1人を何人の働く人が支えているのでしょうか。

高齢社会をともに生きる

わたしたちは、やがてくる高齢社会が明るく豊かな社会であることを願っています。そのためには、若者もおとしよりも、ともに助け合って生きようとする心が大切です。

現在、わたしたちの身のまわりの人たちは、老後の生活にどんな不安を抱いているのでしょうか。おとしよりを取りまく生活環境の現状はどのようなのでしょうか。また、今の社会を築いてきたおとしよりは、どういうことに喜びや生きがいを感じているのでしょうか。

これからの高齢社会を「ともに生きる」ために、現状を知るとともに、わたしたちはどうしたらよいか、よく考えてみましょう。

あの、手を頭にのせて、「ごうもすみません。」からはじまる落語で有名な林家三平さんが亡くなる最後の言葉が、「ありがとごう」だったと、後に奥様がテレビで話されていたのを聞いて以来、私もその日がきたらほたして素直な気持ちでお世話になった方々に、そう言っておの世へ旅だてるものだろうか、幾度となく自問自答してきました。——中略——

としをとつても、ひとり暮らししても、安心して暮らしていける世の中であつてほしいと思います。

何でもが溢れているとき、時代によって考え方もかわつてくると思つけれども、今は心の時代ではないかと思ひます。心が問われる時代だろうと思ひます。

若いときは、何をそんなと思つ位、金銭欲、物欲、すべてのものに欲ばりでした。

今は、何はなくとも心は錦、と昔の人はよく言つたものだと思ひるようになりました。

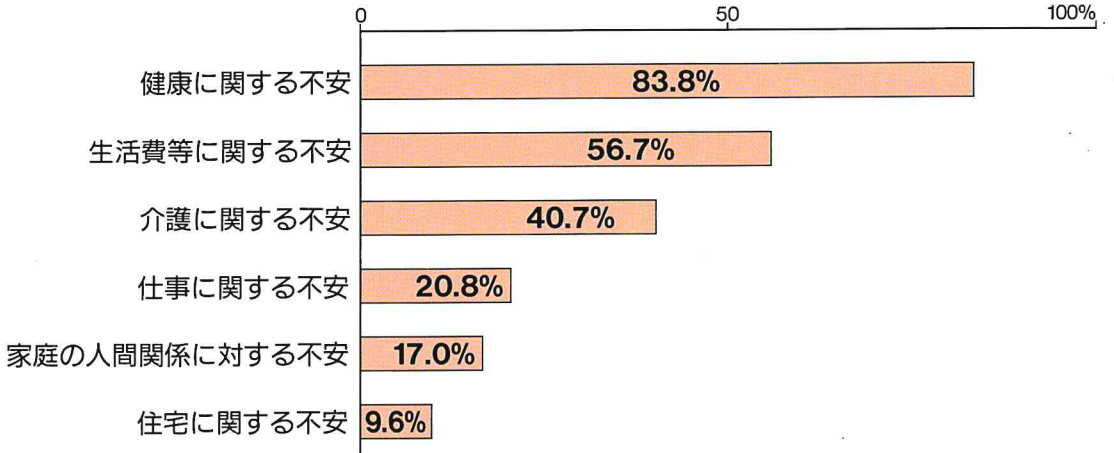
人の心の暖かさとか、やさしい言葉だけでも身にしてみてもありがたいことがあります。

こんなときは、たいがいに自分が病んでいるときとか、なにか辛いことがあつた時だつたような気がします。

年をとるといふことは、それだけで寂しいことです。自分だけが得をしよつといふ考えをみんなが捨てて、みんながやさしさを誰かに分け与えられるよつな世の中であつてほしいと思ひます。

おとしよりの不安

老後の生活に対して不安に思っていること（複数回答） 1988年 金沢市市民意識調査

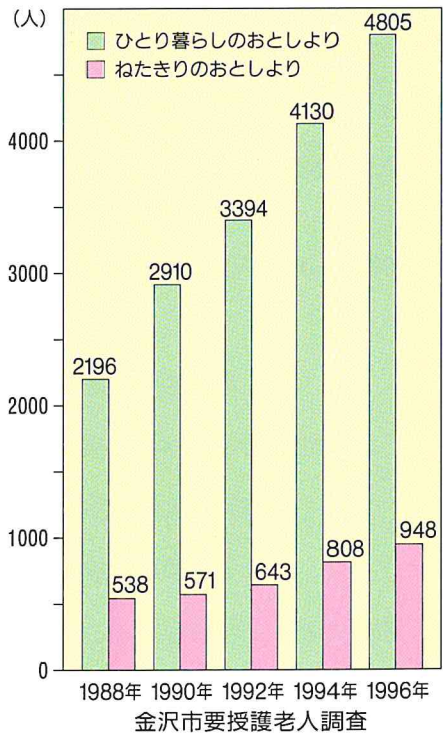


ディサービスを受けるおとしより



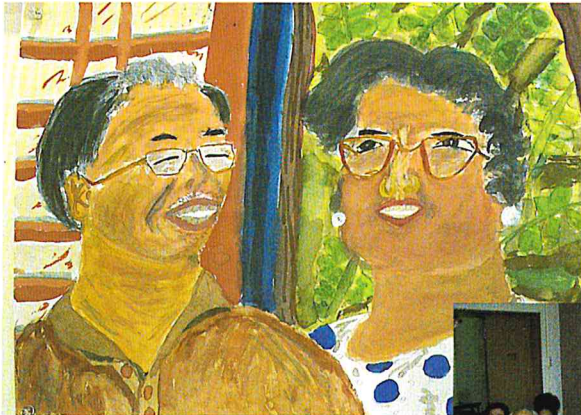
家庭で寝たきりのおとしより

金沢市のひとり暮らしのおとしより ねたきりのおとしよりの数



※ 現在、おとしよりといっしょに生活する家庭が少なくなっています。おとしよりの不安を解消するためには、誰がどうすればよいのかを話し合ってみましょう。

おとしよりのいきがい



今日も元気です。おじいちゃんおばあちゃん
—金沢市こども「高齢者の顔と姿」
— 絵画コンクール応募作品より—

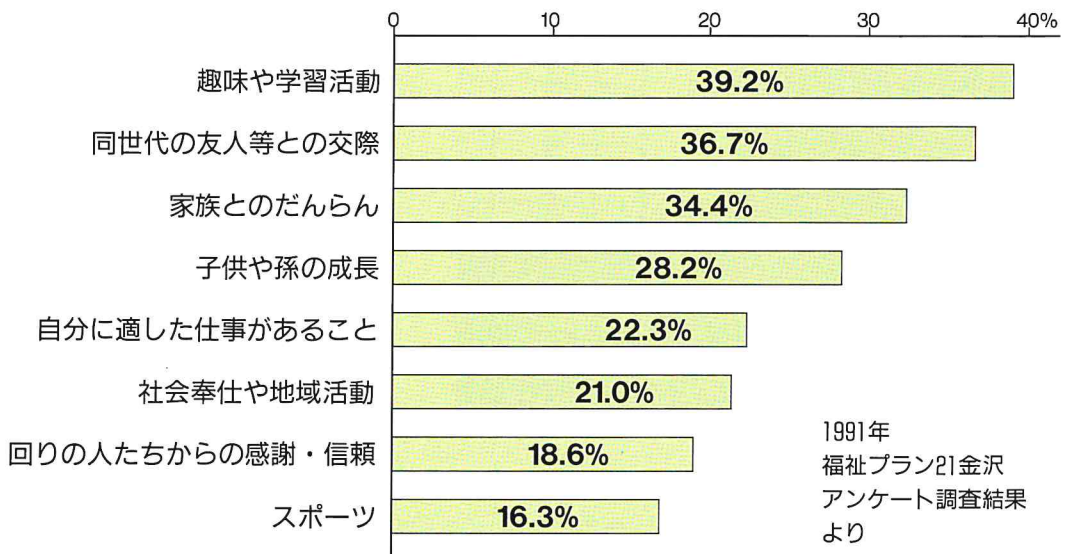


キメコミ人形講座で仕上げた“はご板”に満悦顔のおじいちゃん



高砂大学校で学習に励むおとしより

老後のいきがい（複数回答）



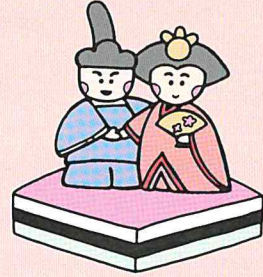
おとしよりのふれあい

「あかりをつけましょぼんぼりに」三月三日の午後、森山児童館内の児童クラブでおばあちゃん子供達のひなまつりが行われました。このひなまつりの発端は児童クラブの子供達が一人居まいの校下内のお年寄り六十数名に寒中お見舞を出した事にはじまります。思いもかけぬ可愛いお便りに喜んだお年寄りから沢山のお礼や励ましのご返事が届けられました。

「いただいたお葉書はわたしの宝ものにして毎日見えています。」

「仲良しのお友達と一度遊びに

ひなまつり



おいで下さい。」等々。

その後、ひなまつりにご招待しようという事になり、その日、五人のおばあちゃんと子供達の楽しいひなまつりの合唱となったわけです。

森山善隣館広報紙

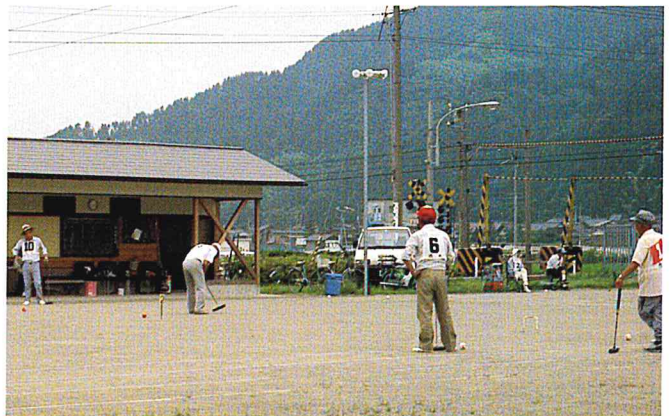
「福祉のひろば」より



ダンスでいつまでも若々しく



冷静にしかも熱いたたかい囲碁大会



リフレッシュ/レッツプレイゲートボール

※ わたしたちは、これまでにおとしよりからどんなことを教えられてきたか思い出してみましょう。

シルバー人材センター

※ シルバー人材センターとはどんなところでしょうか。



シルバー人材センターとは、働きたいという意欲のあるおとしよりのために仕事を提供するところです。現在、金沢市では、750人のおとしよりが登録して、仕事をしています。



正確で、ていねいな作業 — 運搬作業 —



地域環境の美化 — あき地の草刈り —

写真のように運搬作業をしたり、草刈りをしたり、職種はさまざまです。年をとっても元気に働いている人がたくさんいます。みなさん真剣で、いきいきとした表情ですね。社会のために役立つことが、おとしよりにとってはいきがいのひとつです。

〈シルバー人材センター登録の動機〉

男子
女子

単位(人)

動機	人数	男子	女子
いきがいを求めて	99	48	51
健康維持のために	(341)	179	162
経済的理由	40	21	19
その他	29	12	17

2. 障害のある人とともに

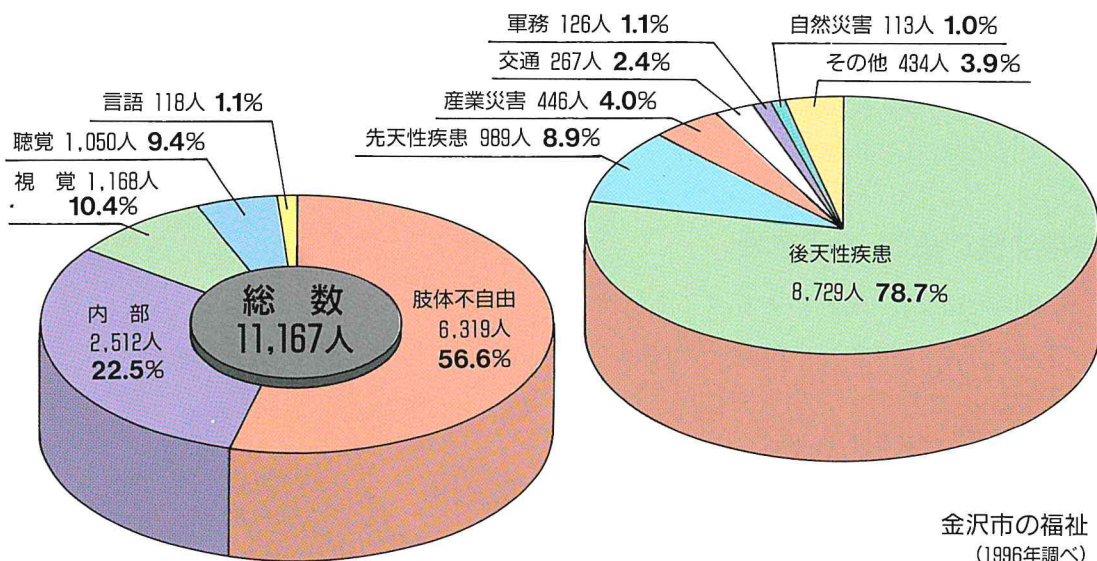
心身に障害のある人の数

わたしたちの身近には、病気や怪我、交通事故や不慮の災害で心身に障害のある人がたくさんいます。

金沢市では、障害の種類や程度、特性に応じて、障害者手帳や療育手帳を交付して、障害のある人が安心して生活できるように医療費や教育費など、いろいろな援助をしています。

- ※ どのような障害の人が、どれくらいいるのでしょうか。
- ※ わたしたちは今まで、障害のある人に、どのような気持ちで接してきましたか。

金沢市の身体に障害のある人の数とそのおもな原因



上のグラフのような身体に障害のある人とは別に、療育手帳（知的な障害のある人のため交付される）をもっている人の数は、1,342人です。

いろいろな学校で学ぶ仲間

わたしたちの中には、さまざまなハンディキャップをもつ人がいます。

たとえば、

- ◇目・耳・手足などになんらかの障害のある人
- ◇言葉になんらかの障害のある人
- ◇知的な障害のある人
- ◇病気に対する抵抗力が弱い人などです。

こうした人たちの中には、わたしたちとともに、学んでいる人もいます。

また、養護学校や盲学校・ろう学校に通い、養護・訓練というそれぞれに応じた指導を受けながら勉強している人たちや学校にいけなくて、家庭に訪れる先生といっしょに勉強している人たちもいます。

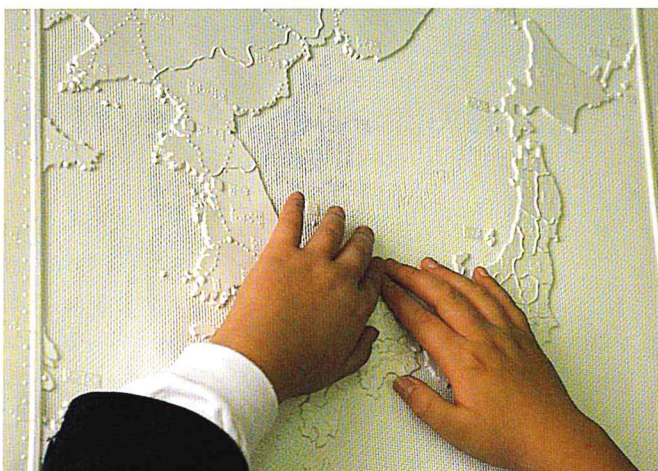
小中学校で協力し合う学習

小中学校には、段差のあるところにスロープをつけたり、階段をのぼるためにステアエイドを設置したりしているところもあります。

それらがなくても、車椅子を使って学ぶ仲間とともに協力しあって、励ましあって勉強している学校もあります。



音楽の時間 —養護学校—



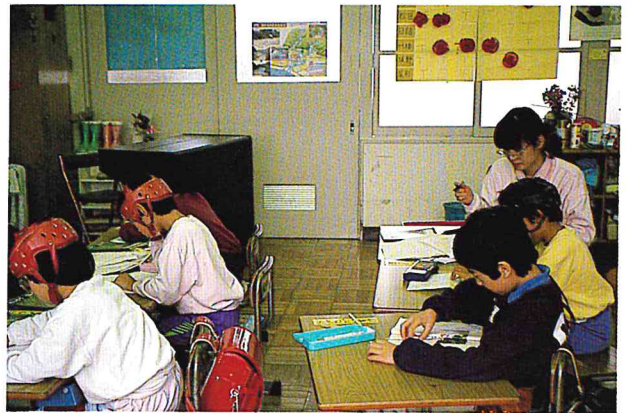
触地図の触読 —盲学校—



小中学校で協力し合う学習

個性や可能性を伸ばす勉強

学校では、わたしたちと同じく各教科、道徳、特別活動があります。その中で、それぞれの障害の状態や特性に応じた指導がなされ、一人ひとりに合った学習が進められています。

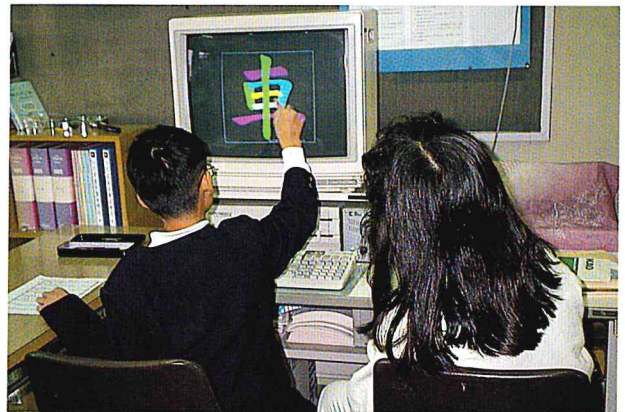


自分の力を精いっぱい出して —養護学校—

生活をより向上させるための訓練

各教科、道徳、特別活動のほかに「養護・訓練」という時間が特別にあります。

その中では、障害のある人たちの生活をより向上させるための学習が続けられています。



機器を使つての反復練習 —盲学校—

いろいろな人たちとの交流活動

障害のない人たちや地域社会の人たちと仲よく活動する機会を多くもちます。

その中で、共に経験を広げ、社会に生きる力を豊かにしていきます。



スポーツの交歓を通しての交流 —ろう学校—

※ 障害のある人とない人が、共に手を携えてより豊かな社会をつくり上げていくことが望まれます。そのために、わたしたち一人ひとりに何が求められているのでしょうか。

ぼくの願い わたしの願い

わたしのゆめ

おかあさんにスカートかってあげる。
くつしたもあげる。

かさもあげる。

中学部いったら

べんきようがんばるよ。

1234・・・かくよ

おんがくのポンポンがんばるよ。

たいそうもするよ。

そつじもするよ。

(養護学校 小学部 児童作文より)

卒業したら

給料をためて飛行機に乗ってみたいです。空から下のけしきを写真でとってみたいと思います。

仕事に行くときは、遅刻しないように時間によゆうをもっていきたいと思います。天気の良いときは自転車でいきますが、事故をおこさないようにしたいと思います。体力をつけて体のじょうぶな人になって、ちよつこのことで会社を休まない人になりたいと思います。電話がかかってきたらすぐに受話器をとってはっきりとおうたいできるようになります。会社では、はっきり返事のできる人になりたいと思います。

一日も早くりっぱな社会人になって、学校の運動会や表現会を見にきたいと思います。

(養護学校 高等部 生徒作文より)

金沢市内や近辺の 心身障害児のための学級・学校

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| ① 中央小学校芳齋分校 | A 石川県立盲学校 |
| ② 明成小学校なすな学級
ことばの教室
きこえの教室 | E 石川県立ろう学校 |
| ③ 長田町小学校ながた学級 | C 石川県立養護学校 |
| ④ 新豎町小学校ことばの教室 | D 石川県立平和町養護学校 |
| ⑤ 額小学校きこえの教室 | E 石川県立明和養護学級 |
| ⑥ 小立野小学校こだつの学級 | F 石川県立明和養護学級
松任分校 |
| ⑦ 金石町小学校かないわ学級 | G 石川県立愛育養護学級 |
| ⑧ 三馬小学校みんな学級 | H 国立金沢大学教育学部
附属養護学級 |
| ⑨ 小将町中学校特学分校 | I 石川県立医王養護学校 |
| ⑩ 紫錦台中学校しきんだい学級 | |
| ⑪ 十一屋小学級じゅういちや学級 | |
| ⑫ 材木町小学校ことばの教室 | |
| ⑬ 扇台小学校ことばの教室 | |



社会の中でもともに生きる仲間

※ 障害のある人の願い、親の願い、友だち、職場の願いはどのようなことかを考えてみましょう。そして、わたしたちは今後どのような心を持って接したらよいのかよく考えてみましょう。

勉強・スポーツにがんばっている高校生

見えない音

鈴
風鈴
高い音



やっぱり補聴器していても
聞こえない音はある
でも
見えていってなんとなく聞こえそうな気
はする
どんな音かな　なんて想像してみた
りする

見えない音さえも私には聞こえる
心の中の音で聞くことができる
皆さんには完全にわかってもらえる
ことができますか

私の耳はもう永遠に聞こえない
医学がもつと発達すれば
私は皆と楽しく話せたかもしれない
そしたら　皆を責めることになるか
もしれない



上の詩は中学3年のときに書いたものです。私は現在高校3年生です。学校生活では中学校でできなかったスポーツ部の弓道をやることができたり、大学へ入りたいと目標を持つようになりました。小学校のときは、耳のことでいじめられ、いじめられることばかり気にしていました。でも、中学3年の時、「私の主張大会」に「私の耳」で学年代表になり優秀賞をもらいました。この時より、今までの辛かった思い出はピタリとやみ、本当の自分をみんなに見せることができるようになりました。

母親の願い

娘が進行性難聴と診断されたのは2才10ヶ月のときでした。学校は普通校に通いながら、「きこえとことばの教室」に通い小・中・高と過ごしてきました。「音を聞くのは耳だけではない、目・体・手でも聞くことができる。いやな事、悲しい事があったら良い方へ考えるようにしなさい。」そう励ましながら育ててきました。

障害のある人は誰も自分で望んでなったものではありません。まわりの友だちの思いやりや、手をさしのべることで解決できると思います。やがて、そのような人が多い社会になり、素直に感謝する気持ちを忘れない娘に育てて欲しいと思っています。

自信をもって仕事に のぞんでいる会社員

私は小学校2年生の時、下校途中、横断歩道を青信号で渡っていて事故にあいました。まだ小さかったので、どれだけ事態が深刻かわかりませんが、1年半以上入院しました。

私は障害のことよりも進路や就職で悩みました。普通高校をあきらめ養護学校高等部に入りました。高校3年間は速く、気がつく就職活動をしていました。職場実習では希望していた会社から断られ、あせりが出ていた時、今の会社に内定しました。入社してからは障害のことで困った事は一度もありません。仕事で失敗するとはっきり注意されますが、その後、必ず励ましてくれるこの会社が大好きです。

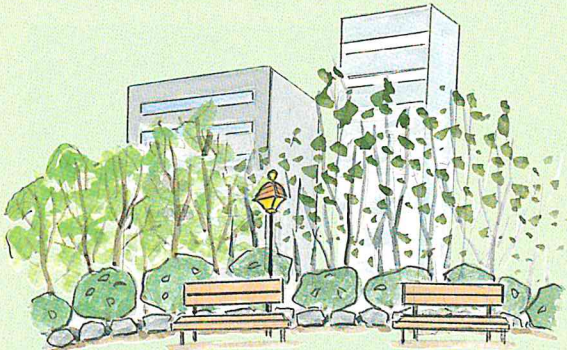


上司の理解

会社では皆と一緒にです。人にはそれぞれ長所や短所があり、障害のある人も意欲や能力を発揮し、まわりの理解と協力で、働く満足が得られるのではないのでしょうか。仕事は一人自分の為にするのではなく、次の人への配慮も大切だと言えます。

友だちの励まし

最初は、「ハンディキャップがあるからと気を使わずになるべく他の人と同じように接しよう」と心がけましたが、日がたつにつれ忘れてしまいました。彼女は幅広い知識があり仕事も熱心で同じミスは二度と繰り返しません。ハンディを克服する魅力をいっぱい持っています。そんな彼女も日頃の会話は19歳の普通の女の子です。



この会社は金沢市でも有名な建設会社です。この会社のように、障害のある人が安心して働くことができ、仕事にもやりがいのある職場が増えるといいですね。

ほほえみの石川国体 (平成3年10月26、27日)



やさしさを忘れない

金沢市立港中学校に寄せられた 参加者からの手紙

港中学校長殿

私は10月26日、27日と金沢で開催されました第27回全国身体障害者スポーツ大会に滋賀県選手団の役員として参加した者です。大変おそくなりましたが一言お礼が良かったくて手紙を書かせていただきました。県のミスで、大会に出場する選手の砲丸の重さが違っているのに気がついたのが大会前日でした。ご承知のとおり、この大会は一生に一度しか参加できないもので、この選手も今まで一生懸命練習をして来られました。それが、こちらのミスによって、今まで投げたことのない重さの砲丸で競技をしなければならなくなったのです。

そこで、私たちは、何とかその選手にちがう重さに慣れてもらわなければいけないと思い砲丸を貸してもらえて練習をさせてもらえる所ということで、港ビジネスホテルに宿泊していた関係で、突然でしたが、港中学校に電話をし、了承していただいたのです。学校へ10人程で練習に行ったところ、クラブ練習中にもかかわらず場所をゆずってもらい、思いきり練習させていただくことができました。本当にありがとうございました。おかげさまで、砲丸投に出場した選手は2位を取ることができました。また、特に今回うれしかった事は、クラブをしていた生徒が、障害者を特別な目で見ることなく礼儀正しくあいさつしてくれたことです。今どきの中学生がこんなにしっかりあいさつできるなんてと…みんな驚いていたくらいです。

それに、砲丸投をしていた女生徒が、かいがいしく私たちのお手伝いをしてくれ、名前は聞きませんでした。きっと陸上部の人でしょう。私たちが心から喜んでいただくとお伝えいただければ幸いです。本当にこの大会に参加してお世話になった貴校の方たちのことは忘れられません。みんなを代表してお礼を申し上げます。ありがとうございました。



滋賀県身体障害者スポーツ協会 田中幸子

第3章 福祉のまちづくり

ひとにやさしい

うるおいのあるまちづくり

わたしたちにもできることを見つけよう

ほんのちよびりの思いやりが

ほんのちよびりの勇気が

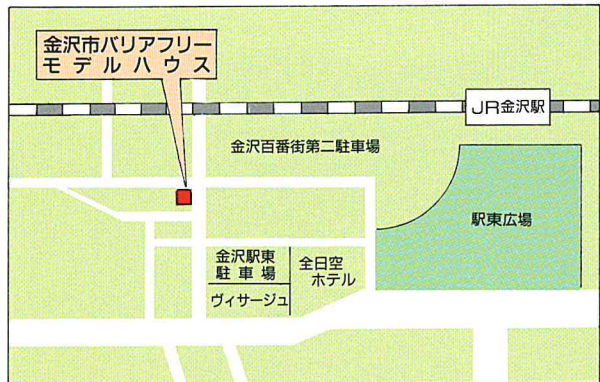
豊かなまちの花となります



1. バリアフリーのまちづくりをめざして

高齢者や障害者の方たちをはじめ、市民の「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を進めることは、高齢社会に向かっているわたしたちの時代のテーマとなっています。金沢市ではどんなまちづくりをめざしているのでしょうか。

下の写真は、金沢市バリアフリーモデルハウスです。どんな工夫がされているのでしょうか。



交通

JR金沢駅から 徒歩3分
休館日：毎週月・火曜日

バリアフリーとは“障壁のない”という意味です。このハウスは、誰もが安心して暮らせる住まいをめざしていろいろな工夫がなされています。休館日以外、自由に見学ができます。

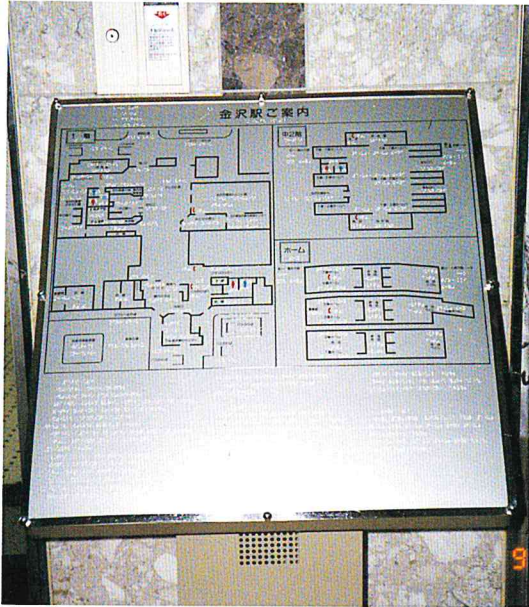


手すりがセットできるように工夫されたトイレ



高齢者の方を配慮した浴室

金沢のバリアフリーのまちづくりを、いくつかウォッチングしてみましょう。



駅構内点字案内板

金沢駅構内の点字案内板です。
前に立つとメロディーが流れてきます。



車いす用リフト

右は香林坊の地下遊歩道に設置してある
車いす用のリフトです。見たことがある人
も多いでしょう。



左は金沢市役所前の段差のない道
です。スロープには手すりがついて
います。向こうの点字ブロックの道
は長寿福祉課・障害福祉課の窓口ま
で続いています。

金沢のまちかどをよく注意して見
れば、この他にもいろいろな工夫や
気配りに気がつくでしょう。

2. 機能回復にがんばる人たち

わたしたちは、けがや病気をしたとき、健康の大切さを実感します。しかし、いつ事故にあい、けがや病気になって、身体に障害を持つようになるかもしれません。こうした障害から身体の健康をとりもどし、機能を回復するため、さまざまな訓練がおこなわれています。

マットの上で風船バレーを楽しむおとしよりたち。

「風船を打つ腕にも力が入りますね!!」



ボランティアのお手伝いでジャンケンゲーム

「グー！ チョキ！ パー！」

乗降用の補助ステップと車イス専用リフトのついたバス。
(機能訓練に通う人たちに利用されています。)



金沢市では、障害のある人やぼけの症状のあるおとしよりの人たちが、しあわせに生活できるように、相談を受けたり、訓練や治療をおこなったり、施設の紹介をしたりしています。

県外の人たちとの交流会で、仲間の輪が広がっていきます。



運動能力を維持するためにリハビリをおこなっているおとしより。

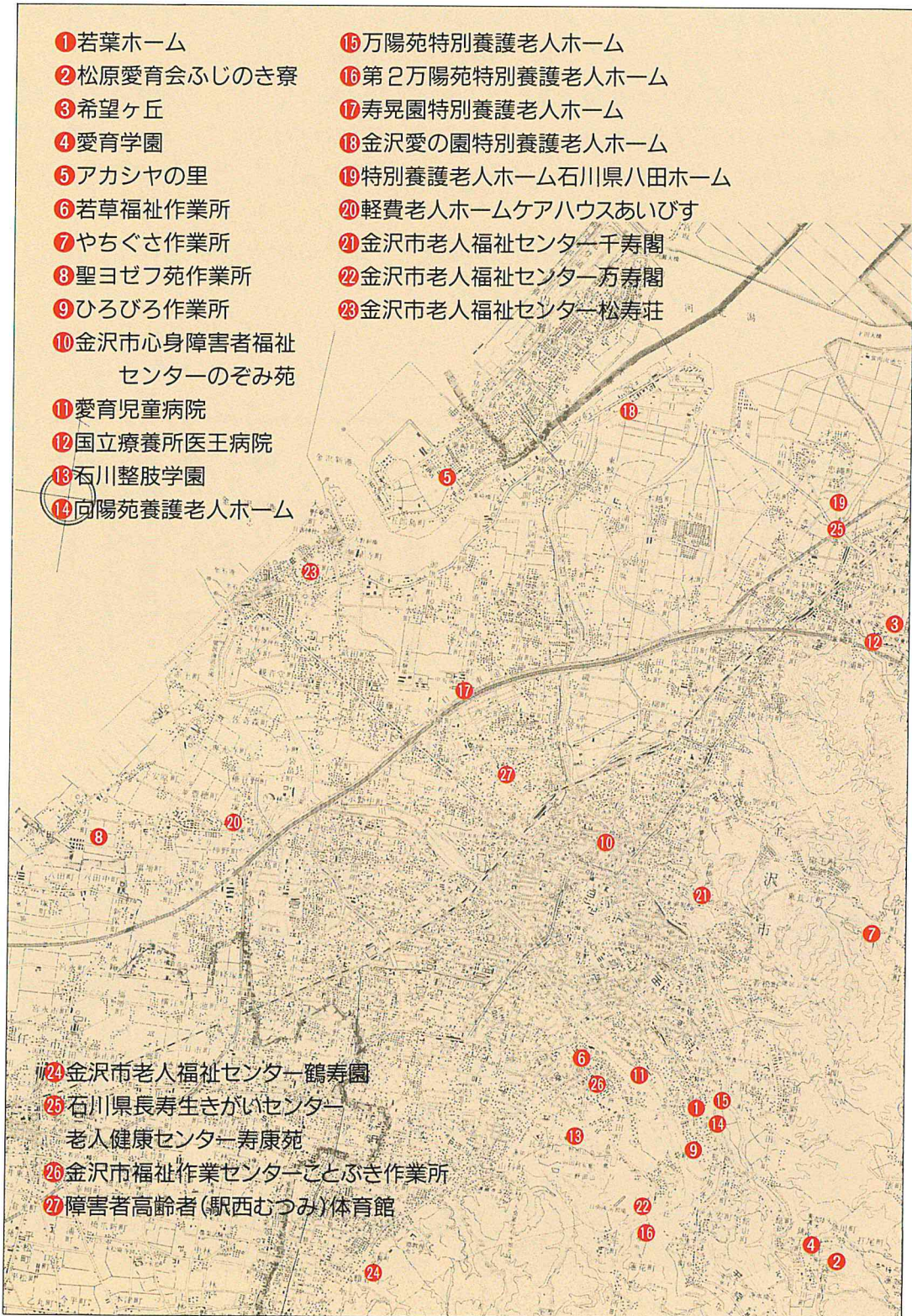


すっきりした気分で、リハビリ最後の深呼吸。

4. 金沢福祉マップ

- ① 若葉ホーム
- ② 松原愛育会ふじのき寮
- ③ 希望ヶ丘
- ④ 愛育学園
- ⑤ アカシヤの里
- ⑥ 若草福祉作業所
- ⑦ やちぐさ作業所
- ⑧ 聖ヨゼフ苑作業所
- ⑨ ひろびろ作業所
- ⑩ 金沢市心身障害者福祉センターのぞみ苑
- ⑪ 愛育児童病院
- ⑫ 国立療養所医王病院
- ⑬ 石川整肢学園
- ⑭ 向陽苑養護老人ホーム
- ⑮ 万陽苑特別養護老人ホーム
- ⑯ 第2万陽苑特別養護老人ホーム
- ⑰ 寿晃園特別養護老人ホーム
- ⑱ 金沢愛の園特別養護老人ホーム
- ⑲ 特別養護老人ホーム石川県八田ホーム
- ⑳ 軽費老人ホームケアハウスあいびす
- ㉑ 金沢市老人福祉センター千寿閣
- ㉒ 金沢市老人福祉センター万寿閣
- ㉓ 金沢市老人福祉センター松寿荘

- ㉔ 金沢市老人福祉センター鶴寿園
- ㉕ 石川県長寿生きがいセンター
老人健康センター寿康苑
- ㉖ 金沢市福祉作業センターことぶき作業所
- ㉗ 障害者高齢者(駅西むつみ)体育館



5. わたしたちにできるボランティア活動

明るく住みよいまちづくりに、すすんで活動している人たちがいます。その目標に向かって、すすんで活動することをボランティア（奉仕）といいます。

金沢市には、災害見舞の募金や歳末助け合い運動に協力したり、使用済み切手を集めて医療のおくれた国の人々のために役立っている学校があります。また、施設や老人ホームへ訪問し一緒に遊んだり、お話したり、外国の友だちと交流を深めている学校があります。

さらに、通学路や学校のまわりをそうじしたり、校区の美化運動に協力し、アキカンやゴミ拾いなどをしている仲間もいます。

老人ホーム訪問

〔交流プログラム〕

①じゃんけんゲーム

②しりとり遊び

③おじいさん、おばあさんへの

質問コーナー

④いっしょに歌おう

・ 校歌紹介

・ 赤とんぼ

・ ふるさと

・ 大きな栗の木の下で

など

〔生徒の感想〕

私は老人ホームを訪問したのは、初めてでした。今までは保育園とか小さな子を世話してきたけれど、今回は「ちゃんとできるか？」緊張も漂いました。でも、そんな事はなく、楽しくお年寄りと遊んだり、学べたりしてとてもよかったです。



青少年赤十字



このマーク、知ってますか？
(青少年赤十字のマークです)

青少年赤十字は学校の中でつくられる赤十字です。

青少年赤十字の精神は、「今、学校で勉強していることを、社会のために役立てる」ことを目的としています。その目的がかなえられるように、いろいろな活動がおこなわれています。自分の学校や学級、クラブ活動、部活動でどのような青少年赤十字活動を取り入れることができるか話し合ってみましょう。



使用済み切手収集

生徒の感想

私は祖父にもお願いしたり、母の職場の人や、お里の人達にもお願いをしました。

祖父は、職場だけでなく出張所へもお願いしたのか数日後には、四・五十枚の切手を持って来てくれました。記念切手や外国切手が値うちがあるそうです。

通学路の清掃

生徒の感想

街頭清掃は、我が校の誇れる伝統です。街頭清掃によって、きれいになったまちを見ると、「いい伝統だ」と、しみじみ思います。これからもずっと、この伝統を守っていきたいです。



6. ボランティア活動の手引き

明るく、住みよいまちをつくるために、すすんでボランティア活動に参加しましょう。

目の不自由な人へは

- ・ 白いつえを持っている人に出合った時や、困っている時には、あなたのほうから声をかけましょう。場所をたずねられたら、「右、左、前」とか「何歩、何メートル」というように正確に伝えましょう。
- ・ 道を案内する時は、あなたのひじを軽くにぎってもらい同じ歩調で歩きましょう。
- ・ 点字ブロックの上に置きっぱなしになっている自転車や障害物は、とりのぞきましょう。



耳の不自由な人へは

- ・ 耳の不自由な人は、あなたが何を話しているかを、口の動きで読み取ることができます。正面から、口を大きくあけて、はっきり、区切りよく話して下さい。また、わからなければ、手のひらや紙に書いて読み合うのも、たしかな方法です。
- ・ 道路などを、いっしょに歩く時は、耳に障害があると後ろから来る車に気がつきにくいので、あなたが、よく気をつけて歩きましょう。



てまねきでお呼び下さい

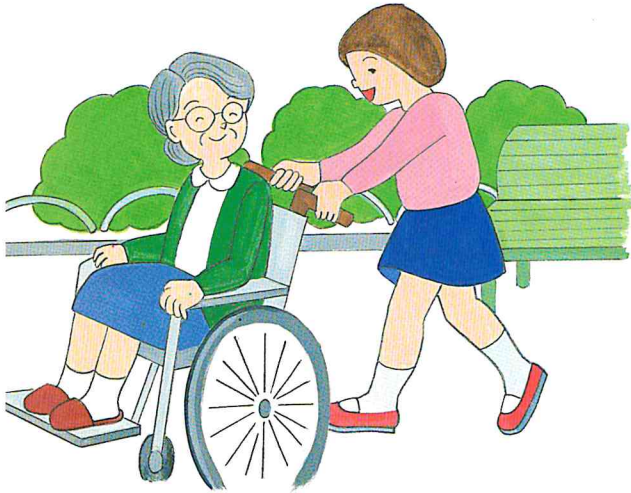


みみ よじゆうもの
耳の不自由な者です

耳の不自由な人のマーク

手や足の不自由な人へは

- ・ 手や足の不自由な人が困っていたら、すすんで手をかしましょう。まず、声をかけて、どうすればいいのかたしかめてから、お手伝いをします。車いすを使っている人には、登り坂などで、押してあげたりするとよろこばれます。一人で、お手伝いするのが無理だったら、通りがかりの人に協力を求めましょう。
- ・ 松葉づえの人、義足の人など、足の不自由な人が、階段などで困っているのをみたら、どうしたらいいのかをよく聞いて、お手伝いしましょう。



からだの不自由な人の
こくさい
国際シンボルマーク

- ・ 手足の不自由な人たちの中には、人に手助けされるのをとても心ぐるしく思う人もいます。それだけにこまやかな心づかいが必要です。

知ってますか

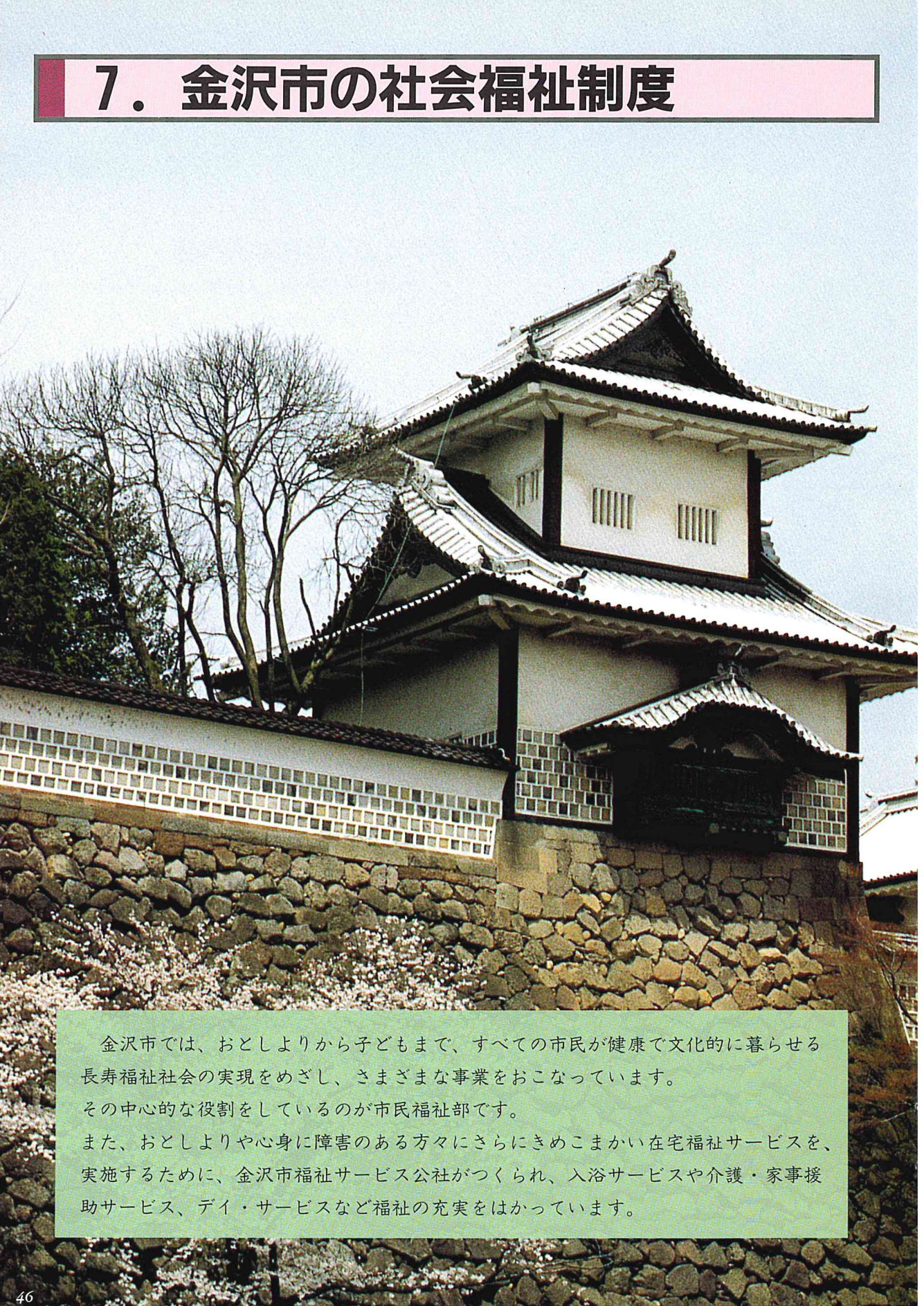
黄色いハンカチは、SOSの合図です。

黄色いハンカチは障害者や老人、病気をもっている方々が、急に具合が悪くなった時や、車椅子の方が階段や坂道で困った時など、助けを求める時に使われます。

まちかどで、このお願いの合図を見たら、あなたのあたたかい愛の手をさしのべて下さい。



7. 金沢市の社会福祉制度



金沢市では、おとしよりから子どもまで、すべての市民が健康で文化的に暮らせる長寿福祉社会の実現をめざし、さまざまな事業をおこなっています。

その中心的な役割をしているのが市民福祉部です。

また、おとしよりや心身に障害のある方々にさらにきめこまかい在宅福祉サービスを、実施するために、金沢市福祉サービス公社がつくられ、入浴サービスや介護・家事援助サービス、デイ・サービスなど福祉の充実をはかっています。



金沢市は、これからの高齢社会にそなえ福祉プラン21金沢を作成しました。

誰もがしあわせに暮らせるまちづくり
誰もが生きがいをもって暮らせるまちづくり
誰もが安心して暮らせるまちづくり

三つの分野で、福祉の充実につとめています。

あとがき

金沢市の教育委員会では、中学生用の福祉教育副読本「ふれあい」を作成しました。この本は、下記の先生方の努力によってできたものです。

人はだれでもかけがえのない「いのち」をもっています。その「いのち」を見つめることや考えることが、福祉の心の芽生えと言えます。わたしたちが人として生きていこうとする限り、お互いの幸福を願わずにはられません。わたしたちのまわりに目を向け、ほんの少しの勇気を出せば、いろいろなことができると思います。

この副読本を授業の中でも適宜取り入れて学習することを願っています。

平成9年3月

◎ 福祉教育副読本作成協力者

大浦 美雪（紫錦台中） 太田 幸恵（浅野川中） 小泉 朝子（西南部中）
五香 利恵（泉中） 酒本 彰（港中） 桜井 正（長田中）
福島 宏明（小將町中）

◎ ご協力いただいたところ

石川県立盲学校 石川県立聾学校 石川県立平和町養護学校
石川県立明和養護学校松任分校 シルバー人材センター
国立金沢大学教育学部附属養護学校
滋賀県身体障害者スポーツ協会（田中 幸子）
森山善隣館 のぞみ苑
金沢市役所民生課 長寿福祉課 障害福祉課 生涯学習課

なお、市教育委員会から下記の者が作成にあたりました。

石原多賀子（教育長） 柱山 嗣廣（学校教育課長）
戸田 教一 藤江 喜明 金丸 洋子 岡 朝子
川上 憲治 小山 孝成 大西 賢一 蔵前 賢次
西崎 辰雄 日爪 憲一 寺井 雅樹 上林 雅彦
大浦 正

ふれあい

初版 平成5年3月15日
改訂 第4版 平成9年3月31日
編集 金沢市教育委員会
発行 (金沢市広坂1丁目1番1号)

教育
2 学校教育
学校教育課